

平成27年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	可児市	学校名	可児市立桜ヶ丘小学校			
校長名	石坂 弘志	対象学年	全学年	人数	664名	
活動名	ふるさとは桜ヶ丘		時間数	155時間	継続年数	14年
題材	① 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） [地域清掃活動]] ② 歴史（出来事・史跡・先人・その他） []] ③ 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） []] ④ 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） []] ⑤ 絆を深め、よりよいふるさとをつくる活動 [校庭キャンプ、地域行事参加、地域人材活用]]					
複数年継続するための工夫改善	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校、保護者が「桜ヶ丘の子供たちが健やかに成長するために」という目的を共有する。 ・目的達成のために地域と学校、保護者が連携を密にし、それぞれができることを話し合いながら進めていく。 ・団地の中の学校であることから、「桜ヶ丘をふるさとに」という地域の願いを大切にしている。 					

1 ねらい

「桜ヶ丘をふるさとに」という地域の願いを受け、地域と学校、保護者が連携を密にし、子供たちが地域の人たちと積極的に関わり、絆を深める中で、人と人が関わることの楽しさや大切さを味わわせ、よりよいふるさとをつくろうとする心（ふるさとへの愛着と誇り）を育む。

2 活動の概要

(1) 夏休み校庭キャンプの実施（夏休み校庭キャンプの会主催 14回目）

- ・本年度は校区の東可児中学校を会場として校舎内外を使った活動を実施した。中学校での実施であったため、中学生とのふれあいを例年以上にもつことができた。
- ・桜ヶ丘ハイツの歴史や施設などをテーマにしたクイズ大会では、地域の方に相談をして答えを見付けるなど、地域の方とふれあいながら行った。また、地域の方の協力を得た借り物競走も行い、ふれあいを深めた。



(2) 地域行事（夏祭り、秋祭り、スポーツ大会、どんど焼き等）への参加とボランティア活動

- ・地域の団体の一員としてステージ参加をしたり、活動に参加したりした。また、行事を運営するボランティアとして参加した。

(3) 地域人材・地域施設を生かした体験活動の積極的実施

- ・クラブ活動（8人）、英語活動ボランティア（23人）、読み聞かせ「お話ランプ」（32人）、地域清掃、地域花いっぱい運動、町探検、福祉体験、夏休み寺子屋（地区社会福祉協議会）等

3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子

(1) 地域住民との関わり

- ・地域住民・保護者・中学生ボランティア等の皆さんと関わりながら、様々なことを教わったり、一緒に活動を楽しんだりすることができた。夏休み寺子屋活動として、地域の金融機関の方によるお金のことや、包括支援センターの方による認知症サポーターのことを学んだ。
- ・地域に出かけ、地域の人から学んだり、幼稚園児との交流で楽しんでもらったりしている。

(2) 地域社会への貢献の様子

- ・地域住民との様々な交流や関わりを通して、地域全体に活気と温かさを生み出した。
- ・地域行事に参加することで、地域行事を盛り上げるとともに、地域の方を喜ばせた。
- ・地域行事にボランティア参加することで、地域の一員として役に立つことができた。
- ・福祉施設訪問や幼稚園訪問での温かな交流を通して、訪問先の人たちに喜んでもらった。
- ・地域清掃や花いっぱい運動への参加を通して、ふるさとである地域を美しくした。

4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）

- ・分からないことは地域の方をはじめ、他の人に聞きながら、自分の力で取り組もうとする主体性が身についてきた。
- ・地域の人と関わることを通して、その楽しさを味わい、大切さを感じ取ることができた。
- ・地域の一員として、連帯感をもつようになった。
- ・地域で活躍したり、地域の人から褒めてもらったりすることで、自信をもつとともに充実感や自己有用感を味わった。

